

## 2021年12月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2021年5月13日

上場会社名 THK株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6481 URL http://www.thk.com  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 寺町 彰博  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務経理統括部長 (氏名) 中根 建治 TEL 03-5730-3911  
 四半期報告書提出予定日 2021年5月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年12月期第1四半期の連結業績（2021年1月1日～2021年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第1四半期	70,752	27.6	3,826	—	3,957	—	2,755	—	2,698	—	14,793	—
2020年12月期第1四半期	55,435	△26.6	△573	—	△2,794	—	△2,810	—	△2,655	—	△9,897	—

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第1四半期	21.32	—
2020年12月期第1四半期	△20.98	—

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2021年12月期第1四半期	486,666	289,036	279,811	57.5
2020年12月期	460,173	275,148	266,491	57.9

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	—	7.50	—	7.50	15.00
2021年12月期	—	—	—	—	—
2021年12月期（予想）	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

当社は期間損益に対して連結配当性向30%を基本としております。当期に関しましては4月10日をもって当社が50周年を迎えますことから、連結配当性向30%に記念配当として5円（中間・期末各2.5円）を加えて実施する予定です。この方針に基づき2021年12月期の配当につきましては開示が可能となった時点で速やかに開示させていただく予定であります。

### 3. 2021年12月期の連結業績予想（2021年1月1日～2021年12月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	151,500	47.0	12,900	—	13,200	—	9,200	—	72.69
通期	320,000	46.1	35,000	—	35,400	—	25,000	—	197.52

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年12月期1Q	133,856,903株	2020年12月期	133,856,903株
② 期末自己株式数	2021年12月期1Q	7,290,596株	2020年12月期	7,290,246株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年12月期1Q	126,566,479株	2020年12月期1Q	126,567,371株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.4「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算補足説明資料は、当社ホームページに掲載する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 要約四半期連結財政状態計算書 .....	5
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 要約四半期連結持分変動計算書 .....	9
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	11
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	12
(継続企業の前提に関する注記) .....	12
(セグメント情報) .....	12
(重要な後発事象) .....	13
(追加情報) .....	13

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間においては、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の感染拡大の影響が続き、世界経済の先行きに強い不透明感が残る中でも、いち早く経済活動を再開した中国の回復に加え、米国においても持ち直しの動きが見られました。そのような中、各国におけるワクチン接種の進展などに伴い、全体の景況感は改善の方向に向かう兆しが見られました。

当社グループでは、「LMガイド(直線運動案内: Linear Motion Guide)」をはじめとする当社製品の市場を拡大すべく「グローバル展開」と「新規分野への展開」、「ビジネススタイルの変革」を成長戦略の柱として掲げています。グローバル展開では、中国やその他の新興国においてFA(Factory Automation)の進展などを背景としてマーケットは成長し、先進国でもユーザーの裾野が広がる中、これらの需要を取り込むべくグローバルで生産・販売体制の拡充に努めています。新規分野への展開では、自動車、医療機器、航空機、ロボットなど消費財に近い分野に加え、免震・制震装置、再生可能エネルギー関連など自然災害や気候変動のリスクを低減する分野においても当社グループ製品の採用が広がる中、従来品のみならず新規開発品の売上収益の拡大を図っています。さらに、これらの戦略を推し進めるべく、様々な面でAI、IoT、ロボットをはじめとするテクノロジーを徹底的に活用することで、ビジネススタイルの変革を図り、ビジネス領域のさらなる拡大を図っています。

そのような中、当社グループにおいては、昨年後半より世界に先んじて経済活動を再開した中国における需要の回復が続く中、先進国を含む他の地域においても需要に回復の動きが見られました。これらの需要をこれまで推し進めてきた生産性向上に向けた取り組みなどにより、着実に売上収益へと繋げた結果、連結売上収益は前年同期に比べて、153億1千6百万円(27.6%)増加し、707億5千2百万円となりました。

コスト面では、売上収益の増加に加え、生産性向上に向けた各種改善活動を引き続き推進したことなどにより、売上原価率は前年同期に比べて0.2ポイント低下し、77.9%となりました。

販売費及び一般管理費は、各種費用の抑制や業務の効率化に努めたことなどにより前年同期に比べて1億5千5百万円(△1.2%)減少し123億1千5百万円となりました。売上収益に対する比率は、これらに加え売上収益が増加したことなどにより、前年同期に比べて5.1ポイント低下し17.4%となりました。

これらの結果、営業利益は前年同期に比べて44億円増加し38億2千6百万円(前年同期は5億7千3百万円の営業損失)となり、売上収益営業利益率は5.4%となりました。

金融収益は11億8千6百万円、金融費用は10億5千6百万円となりました。

これらの結果、税引前四半期利益は前年同期に比べて67億5千2百万円増加し39億5千7百万円(前年同期は27億9千4百万円の税引前四半期損失)、親会社の所有者に帰属する四半期利益は前年同期に比べて53億5千3百万円増加し26億9千8百万円(前年同期は26億5千5百万円の親会社の所有者に帰属する四半期損失)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

(日本)

日本では、引き続き回復基調で推移しているエレクトロニクス関連をはじめ、全般的に需要に回復の動きが見られました。そのような中、これらの需要をこれまで推し進めてきた生産性向上に向けた取り組みなどにより、着実に売上収益へと繋げた結果、売上収益は前年同期に比べて36億4千2百万円(16.0%)増加し、263億8千9百万円となりました。セグメント利益(営業利益)は売上収益の増加などにより、前年同期に比べて30億8千8百万円増加し、26億2千8百万円(前年同期は4億6千万円のセグメント損失)となりました。

(米州)

米州では、エレクトロニクス関連の需要を中心に全般的に需要に回復の動きが見られる中、これらの需要をこれまで推し進めてきた生産性向上に向けた取り組みなどにより着実に売上収益へと繋げました。これらの結果、売上収益は前年同期に比べて6億9千5百万円(5.4%)増加し、135億8千2百万円となりました。セグメント利益(営業利益)は売上収益の増加などにより、前年同期に比べて4億3千9百万円増加し、4千9百万円(前年同期は3億8千9百万円のセグメント損失)となりました。

(欧州)

欧州では、全般的に需要に回復の兆しが見られる中、これらの需要をこれまで推し進めてきた生産性向上に向けた取り組みなどにより、着実に売上収益へと繋げました。これらの結果、売上収益は前年同期に比べて15億6千万円(13.4%)増加し、132億3千7百万円となりました。セグメント損益(営業損益)は、売上収益の増加などにより、前年同期に比べて3千3百万円改善しましたが、3億7千5百万円の損失(前年同期は4億8百万円のセグメント損失)となりました。

(中国)

中国では、世界に先んじて経済活動が再開され、全般的に需要の回復が続く中、これらの需要をこれまで推し進めてきた生産性向上に向けた取り組みなどにより、着実に売上収益へと繋げました。これらの結果、売上収益は77億7千4百万円(144.1%)増加し、131億7千万円となりました。セグメント利益(営業利益)は売上収益の増加などにより、前年同期に比べて18億5千3百万円増加し、18億4千3百万円(前年同期は1千万円のセグメント損失)となりました。

(その他)

その他では、インド・ASEANをはじめとして当社グループ製品への需要の裾野が着実に広がる中、当社グループにおいては販売網の拡充に加え、新規顧客を開拓すべく積極的な営業活動を展開しました。加えて、一部地域で中国における需要の回復の影響を受けたことなどにより、売上収益は前年同期に比べて16億4千2百万円(60.2%)増加し、43億7千1百万円となりました。セグメント利益(営業利益)は売上収益の増加などにより、前年同期に比べて3億1千万円(128.2%)増加し、5億5千3百万円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①資産、負債及び資本の状況

資産は、現金及び現金同等物が19億2千1百万円、営業債権及びその他の債権が119億6千4百万円、棚卸資産が69億3千8百万円、有形固定資産が42億7千7百万円、のれん及び無形資産が3億6千6百万円増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ264億9千3百万円増加の4,866億6千6百万円となりました。

負債は、社債及び借入金が13億7千7百万円減少しましたが、営業債務及びその他の債務が118億7千1百万円増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ126億5百万円増加の1,976億3千万円となりました。

資本は、利益剰余金が17億6千7百万円、その他の資本の構成要素が115億5千4百万円、非支配持分が5億6千7百万円増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ138億8千7百万円増加の2,890億3千6百万円となりました。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況は、次のとおりです。

営業活動によるキャッシュ・フローは、税引前四半期利益39億5千7百万円、減価償却費及び償却費46億8百万円、営業債務及びその他の債務の増減額135億3千7百万円などのキャッシュ・インに対し、営業債権及びその他の債権の増減額107億9千2百万円、棚卸資産の増減額55億4百万円、法人所得税の支払額12億5千1百万円などのキャッシュ・アウトが発生したことにより、38億4千6百万円のキャッシュ・イン（前年同期は50億7千2百万円のキャッシュ・イン）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出28億1百万円などのキャッシュ・アウトにより、28億9千9百万円のキャッシュ・アウト（前年同期は51億7千4百万円のキャッシュ・アウト）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の返済による支出21億8千5百万円、配当金の支払額9億5千万円などのキャッシュ・アウトが発生したことにより、35億8千7百万円のキャッシュ・アウト（前年同期は61億3千9百万円のキャッシュ・イン）となりました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ、19億2千1百万円増加し、1,607億6千万円（前年同期は1,544億6千1百万円）となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当期の連結業績予想につきましては、本日（2021年5月13日）公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	158,839	160,760
営業債権及びその他の債権	59,505	71,469
棚卸資産	47,237	54,175
その他の金融資産	14	14
その他の流動資産	8,899	9,125
流動資産合計	274,495	295,546
非流動資産		
有形固定資産	145,922	150,200
のれん及び無形資産	18,779	19,145
持分法で会計処理されている投資	5,686	5,823
その他の金融資産	10,013	10,341
繰延税金資産	2,937	3,051
退職給付に係る資産	2,227	2,456
その他の非流動資産	110	102
非流動資産合計	185,678	191,120
資産合計	460,173	486,666

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	40,293	52,164
社債及び借入金	2,244	2,352
その他の金融負債	2,579	3,776
引当金	763	745
未払法人所得税	1,001	1,503
その他の流動負債	11,617	12,791
流動負債合計	58,500	73,334
非流動負債		
社債及び借入金	100,325	98,840
その他の金融負債	11,243	10,433
退職給付に係る負債	7,014	7,140
引当金	182	188
繰延税金負債	5,463	5,447
その他の非流動負債	2,295	2,245
非流動負債合計	126,524	124,295
負債合計	185,024	197,630
資本		
資本金	34,606	34,606
資本剰余金	40,413	40,413
利益剰余金	219,712	221,480
自己株式	△14,006	△14,007
その他の資本の構成要素	△14,235	△2,680
親会社の所有者に帰属する持分合計	266,491	279,811
非支配持分	8,657	9,224
資本合計	275,148	289,036
負債及び資本合計	460,173	486,666



## (2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

(要約四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)
売上収益	55,435	70,752
売上原価	43,301	55,096
売上総利益	12,134	15,655
販売費及び一般管理費	12,470	12,315
その他の収益	373	627
その他の費用	624	190
持分法による投資利益	14	49
営業利益 (△は損失)	△573	3,826
金融収益	211	1,186
金融費用	2,432	1,056
税引前四半期利益 (△は損失)	△2,794	3,957
法人所得税費用	15	1,202
四半期利益 (△は損失)	△2,810	2,755
四半期利益 (△は損失) の帰属		
親会社の所有者	△2,655	2,698
非支配持分	△155	57
四半期利益 (△は損失)	△2,810	2,755
1 株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益 (△は損失) (円)	△20.98	21.32
希薄化後1株当たり四半期利益 (円)	—	—

(要約四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)
四半期利益 (△は損失)	△2,810	2,755
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	△883	80
確定給付制度の再測定	8	22
持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	88	0
純損益に振り替えられることのない項目合計	△786	103
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	△6,190	11,765
持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	△109	169
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	△6,300	11,935
税引後その他の包括利益	△7,087	12,038
四半期包括利益	△9,897	14,793
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	△9,509	14,271
非支配持分	△388	522
四半期包括利益	△9,897	14,793

## (3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第1四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分				その他の資本の構成要素	
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	在外営業活動体の換算差額	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産
2020年1月1日時点の残高	34,606	40,413	230,927	△14,004	△13,479	1,881
四半期損失(△)	—	—	△2,655	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	△6,063	△889
四半期包括利益合計	—	—	△2,655	—	△6,063	△889
自己株式の取得	—	—	—	△0	—	—
配当金	—	—	△1,012	—	—	—
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	—	99	—	—	—
その他	—	—	—	—	—	—
所有者との取引額合計	—	—	△913	△0	—	—
2020年3月31日時点の残高	34,606	40,413	227,358	△14,005	△19,543	992

	親会社の所有者に帰属する持分				
	その他の資本の構成要素		合計	非支配持分	合計
	確定給付制度の再測定	合計			
2020年1月1日時点の残高	—	△11,598	280,344	10,787	291,132
四半期損失(△)	—	—	△2,655	△155	△2,810
その他の包括利益	99	△6,854	△6,854	△233	△7,087
四半期包括利益合計	99	△6,854	△9,509	△388	△9,897
自己株式の取得	—	—	△0	—	△0
配当金	—	—	△1,012	—	△1,012
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	△99	△99	—	—	—
その他	—	—	—	△245	△245
所有者との取引額合計	△99	△99	△1,013	△245	△1,258
2020年3月31日時点の残高	—	△18,551	269,822	10,153	279,975

当第1四半期連結累計期間(自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	
					在外営業活動体の換算差額	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産
2021年1月1日時点の残高	34,606	40,413	219,712	△14,006	△16,201	1,966
四半期利益	—	—	2,698	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	11,473	83
四半期包括利益合計	—	—	2,698	—	11,473	83
自己株式の取得	—	—	—	△1	—	—
配当金	—	—	△949	—	—	—
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	—	18	—	—	△1
その他	—	—	—	—	—	—
所有者との取引額合計	—	—	△930	△1	—	△1
2021年3月31日時点の残高	34,606	40,413	221,480	△14,007	△4,727	2,047

	親会社の所有者に帰属する持分				
	その他の資本の構成要素		合計	非支配持分	合計
	確定給付制度の再測定	合計			
2021年1月1日時点の残高	—	△14,235	266,491	8,657	275,148
四半期利益	—	—	2,698	57	2,755
その他の包括利益	16	11,572	11,572	465	12,038
四半期包括利益合計	16	11,572	14,271	522	14,793
自己株式の取得	—	—	△1	—	△1
配当金	—	—	△949	—	△949
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	△16	△18	—	—	—
その他	—	—	—	44	44
所有者との取引額合計	△16	△18	△950	44	△906
2021年3月31日時点の残高	—	△2,680	279,811	9,224	289,036

## (4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益 (△は損失)	△2,794	3,957
減価償却費及び償却費	4,647	4,608
退職給付に係る負債及び退職給付に係る資産の増減額	△44	△62
金融収益	△211	△1,186
金融費用	1,526	1,192
持分法による投資損益 (△は益)	△14	△49
営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	4,227	△10,792
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△3,249	△5,504
営業債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	1,298	13,537
その他	△58	△669
小計	5,327	5,028
利息及び配当金の受取額	221	156
利息の支払額	△95	△86
法人所得税の支払額	△380	△1,251
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,072	3,846
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△5,187	△2,801
有形固定資産の売却による収入	6	3
その他の金融資産の取得による支出	△6	△32
その他の金融資産の売却による収入	—	4
その他	12	△73
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,174	△2,899
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△2,185	△2,185
社債の発行による収入	10,000	—
自己株式の取得による支出	△0	△1
配当金の支払額	△1,014	△950
非支配持分への配当金の支払額	△225	—
リース負債の返済による支出	△435	△451
財務活動によるキャッシュ・フロー	6,139	△3,587
現金及び現金同等物に係る換算差額	△667	4,562
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	5,369	1,921
現金及び現金同等物の期首残高	149,091	158,839
現金及び現金同等物の四半期末残高	154,461	160,760

## (5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

## (セグメント情報)

## (1) 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、LMガイド・ボールねじ等の機械要素部品と、リンクボール・サスペンションボールジョイント等の輸送用機器要素部品を製造・販売しており、国内においては当社及び国内子会社が、海外においては各地域をそれぞれ独立した現地子会社が担当しており、各地域において包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社グループの構成単位は、製造・販売体制を基礎とした地域別のセグメントから構成されており、「日本」、「米州」、「欧州」、「中国」、「その他」の5つを報告セグメントとしております。

## (2) 報告セグメントに関する情報

当社グループの報告セグメントによる収益及び業績は以下のとおりであります。

なお、セグメント間の売上収益は、市場実勢価格に基づいております。

前第1四半期連結累計期間（自 2020年1月1日 至 2020年3月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント					合計	調整額 (注) 3	連結
	日本	米州	欧州	中国	その他			
売上収益								
外部顧客への売上収益	22,747	12,887	11,677	5,395	2,728	55,435	—	55,435
セグメント間売上収益	9,713	64	51	331	457	10,618	△10,618	—
合計	32,460	12,951	11,728	5,726	3,186	66,054	△10,618	55,435
セグメント利益 (△は損失) (注) 4	△460	△389	△408	△10	242	△1,026	452	△573
金融収益	296	46	130	80	20	574	△363	211
金融費用	1,088	384	954	46	0	2,474	△42	2,432
税引前四半期利益 (△は損失)	△1,251	△728	△1,232	23	262	△2,926	131	△2,794

(注) 1. 国または地域の区分は、地理的近接度によっております。

2. 日本、中国以外の各区分に属する主な国又は地域

(1) 米州……………アメリカ等

(2) 欧州……………ドイツ、フランス等

(3) その他……………台湾、シンガポール等

3. セグメント利益 (△は損失) の調整額は、全額セグメント間取引消去であります。

4. セグメント利益 (△は損失) は、要約四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					合計	調整額 (注) 3	連結
	日本	米州	欧州	中国	その他			
売上収益								
外部顧客への売上収益	26,389	13,582	13,237	13,170	4,371	70,752	—	70,752
セグメント間売上収益	14,103	38	48	597	699	15,487	△15,487	—
合計	40,493	13,620	13,286	13,767	5,070	86,239	△15,487	70,752
セグメント利益 (△は損失) (注) 4	2,628	49	△375	1,843	553	4,699	△873	3,826
金融収益	2,361	0	47	103	5	2,519	△1,332	1,186
金融費用	963	50	49	5	33	1,103	△47	1,056
税引前四半期利益 (△は損失)	4,026	△0	△376	1,941	525	6,115	△2,158	3,957

(注) 1. 国または地域の区分は、地理的近接度によっております。

2. 日本、中国以外の各区分に属する主な国又は地域

- (1) 米州……………アメリカ等  
(2) 欧州……………ドイツ、フランス等  
(3) その他……………台湾、シンガポール等

3. セグメント利益(△は損失)の調整額は、全額セグメント間取引消去であります。

4. セグメント利益(△は損失)は、要約四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症拡大に伴う会計上の見積りについて)

前連結会計年度の有価証券報告書の注記「37. 追加情報(新型コロナウイルス感染症拡大に伴う会計上の見積りについて)」に記載した新型コロナウイルス感染症の影響に関する仮定について重要な変更はありません。